

# 関東地方の私鉄の歴史

2014年6月 柿原 智

## '(1)西武鉄道-①

		川越鉄道～(旧)西武鉄道	武蔵野鉄道	多摩湖鉄道
明治	明治27年(1894) 明治28年(1895) 明治39年(1906)	国分寺～久米川(現東村山)開通。 国分寺～久米川～川越(現本川越)全通。 後に川越鉄道を吸収合併する武蔵水電の前身川越電気鉄道が川越久保町～大宮を開業。		
大正	大正3年(1914) 大正4年(1915) 大正9年(1920) 大正10年(1921) 大正11年(1922) 大正13年(1924) 大正14年(1925)	川越電気鉄道と武蔵水電が合併、社名は武蔵水電。 武蔵水電が川越鉄道を吸収合併。 西武軌道が淀橋～荻窪を開業したが、同年武蔵水電が西武軌道を吸収合併。 帝国電灯が武蔵水電を吸収合併、鉄軌部門を「武蔵鉄道」として分離。11月「武蔵鉄道」を「西武鉄道」(旧)に改称。 南大塚～安比奈に貨物線開業。昭和42年(1967)から休業中。	池袋～所沢～飯能、開通。	箱根土地会社(社長堤康次郎氏)が大泉村で、翌14年小平村で宅地分譲を開始。
正	大正15年(1926)		藤田好三郎氏がとしまえんを部分開園。	
昭和	昭和2年(1927)		村山貯水池が完成する。観光地となる。 としまえん開園。	
戦	昭和2年(1927)	東村山～高田馬場複線で開業(村山線)。	練馬～豊島(現豊島園)開通(豊島線)。	
	昭和2年(1927)	現在の多摩川線を開業させていた多摩鉄道を吸収合併(武蔵境～是政)。		
	昭和2年(1927)	東村山～川越間を電化(川越線)、高田馬場～川越間の直通運転開始。		箱根土地多摩湖線 国分寺～萩山間開通
	昭和3年(1928)		飯能～吾野間路線延長	
	昭和4年(1929)		西所沢～村山公園(駅名度々変更あり。現西武球場前)開業。(当時山口線、現在狭山線。山口線は別の路線で使われている。)	
	昭和4年(1929)			
	昭和5年(1930)	東村山～村山貯水池前開通		
昭和10年(1935)	淀橋～荻窪間を東京乗合自動車に委託、戦後昭和26年に譲渡。		国分寺～村山貯水池間開通	
昭和13年(1938)	「陸上交通事業調整法」発布。			
昭和15年(1940)		武蔵野鉄道と多摩湖鉄道が合併、存続名は武蔵野鉄道、社長に堤康次郎氏。		
前	昭和16年(1941)	川越久保町～大宮を廃止		
	昭和16年(1941)			多摩湖線村山貯水池駅を狭山湖駅と改称。

	昭和 16 年(1941)		武蔵野鉄道(現西武鉄道)が当時のとしまえんの経営会社 日本企業を吸収合併。 以後としまえんは西武グループの一員となるが経営会社名 は度々変更し、現在は(株)豊島園が経営。
和	昭和 19 年(1944)	子会社「食糧増産」を設立。	戦況悪化で、としま園を一時閉園する。

(1)西武鉄道-②

		鉄道部門	レジャー部門	
		戦後、西武鉄道はとしまえん以外に多摩湖周辺を中心に、レジャー施設の拡大に力を注いできた。 鉄道の乗客数や路線、駅名とも関係が深いレジャー部門を併記する。		
昭	昭和 20 年(1945)	9月「西武鉄道」、「食糧増産」、「武蔵野鉄道」が合併。 武蔵野鉄道が(旧)西武鉄道を吸収する形で、「西武農業鉄道」が発足。		
	昭和 21 年(1946)	11月社名を「西武鉄道」に改称。	3月としまえんが営業再開。	
	昭和 25 年(1950)	遊戯施設として、おとぎ列車が多摩湖ホテル前～上堰堤間を走る (おとぎ線)。	1月ゆうえんち東村山文化園 開園。	
	昭和 26 年(1951)	多摩湖線「狭山公園」を「多摩湖」に駅名改称。	5月村山競輪場開設。	
	昭和 26 年(1951)	西所沢～狭山湖間を狭山線に、又東村山～西武園と一駅だけの路線 として新たに西武園線がスタート。	9月東村山文化園を西武園 に改名、通称西武園遊園地。	
	戦	昭和 26 年(1951)		9月ユネスコ村開園。世界各 国の建築物を小さく再現。
		昭和 27 年(1952)	高田馬場～西武新宿間が開通。西武新宿～本川越間を西武新宿線に。	
		昭和 27 年(1952)	おとぎ線を地方鉄道に転換して「山口線」に。路線は多摩湖ホテル前～ ユネスコ村。	村山競輪場が西武園競輪 場に名称変更。
		昭和 29 年(1954)		12月室内スキー場「狭山ス キー場」開設。
		昭和 34 年(1959)		
昭和 36 年(1961)		多摩湖鉄道多摩湖駅を0.4Km延伸した位置に移動。		
昭和 38 年(1963)		山口線多摩湖ホテル前駅を西武遊園地駅に改称。		
昭和 43 年(1968)		昭和3年(1928)から部分開通を続けていた、西武拝島線(小平～拝島) が全線開通。		
昭和 44 年(1969)		西武秩父線(吾野～西武秩父)が開通。		
後		昭和 54 年(1979)	3月25日、狭山線、「狭山湖」駅が「西武球場前」駅に改称。	
	昭和 54 年(1979)	3月25日、多摩湖線「多摩湖」駅が「西武遊園地」駅と改称。		
	昭和 54 年(1979)	3月25日、山口線「西武遊園地」駅は「遊園地前」駅と改称。	3月31日「西武ライオンズ球 場」竣工。	
	昭和 58 年(1983)	10月、西武有楽町線の新桜台～小竹向原間開業。 小竹向原より帝都高速度交通営団有楽町線との直通運転を開始。 この時点で練馬～新桜台は未開通。		
和	昭和 60 年(1985)	山口線は新交通システム「レオライナー」として、西武遊園地～西武球場 前間開通。同時に遊園地前～ユネスコ村間を廃止。		
平	平成 2 年(1990)		ユネスコ村休園。	
	平成 5 年(1993)		12月にユネスコ村大恐竜 探検館開業。	
	平成 6 年(1994)	12月7日より西武有楽町線の新桜台から、同日営業開始の営団有楽町 新線との直通運転を開始。現在の副都心線の池袋駅を通る。		
	平成 10 年(1998)	3月に練馬～小竹向原(西武有楽町線)間が複線全通したのに伴い、 西武池袋線との直通運転開始。池袋線の飯能及び小手指から、西武 有楽町線を経由して営団有楽町線新木場間との直通運転開始。	西武ライオンズ球場の名称 が西武ドームとなる。	

成	平成 16 年(2004)	4月1日、帝都高速度交通営団の名称が東京メトロになる。	
	平成 17 年(2005)		6月、ユネスコ村敷地の一部に、ゆり園開園。
	平成 18 年(2006)	2月3日株式会社西武ホールディングスが西武鉄道、プリンスホテル等の持ち株会社になる。	9月大恐竜館他施設を閉館。
	平成 20 年(2008)	6月西武池袋線の飯能及び小手指から西武有楽町線を経由して、東京メトロ副都心線渋谷駅との相互直通運転を開始。	ゆり園は毎年5月下旬～7月上旬に開園。
	平成 22 年(2010)		11月西武園遊園地や旧ユネスコ村を含む西武園エリアーのネーミングを
	平成 25 年(2013)	3月16日、池袋線の飯能及び小手指から、東京メトロ副都心線を経由して、東急東横線・横浜高速鉄道みなとみらい線との相互直通運転開始。横浜の元町・中華街まで乗り換え無しで到達。	「アツハの森」に決定。
平成 26 年(2014)	4月23日、西武ホールディングスが東京証券取引所第1部に上場。西武鉄道は平成16年(2004)12月に上場廃止になったので、約9年半ぶりである。		

尚、お気づきの点がございましたらご教示 お願い申し上げます。